

園内でもコロナの感染者が増え、お休みの子が多くなったため、現在は哲学対話もお休みしています。

つくし(年長児)を中心とした「哲学対話」を再開しました。といっても今年度の年長さんたちにとっては初めてです。まだほんの数回しか行なっていませんが、毎回、子どもたちとの対話がおもしろくて…。

みんながお昼寝している間に、しばらくは15分～30分弱の短い時間で継続していけたらと思っています。

「哲学対話」というと難しそうに聞こえるかもしれませんが、結論を出したり、みんなの答えをまとめたりするのではなく、それぞれ自分の考えていることを話して、お互いの考えを知る、いろんな答えがあっという間だということを感じてもらえたらと思っています。

今のところは、大人がテーマを決め、対話の練習をしている感じです。今後は、だんだんとテーマも子どもたちと一緒に考えながら、対話を楽しんでいけたらと思っています。

①ボールをもっている人が話す(自分の考えを言う) ②ボールを渡されても何も言わなくてもいい ③ボールを持っている人が話をしているときは、しっかり聴く ④ボールを持っている人が考えているときは待つ ⑤人の嫌がることはしない というルールに則って行っています。



せっかくなので、これまでの振り返りを簡単にご紹介させていただきます。

## 第1回目「みんなの好きなもの・好きなこと」

「くだもの」、「積み木」、「魚釣り」、「プール」、「フェスティバルごっこでやった割りばしでっぼう」…

「ケイドロ。汗かくし、きついけど、走ると風が吹いて気持ちいい！あと、友達が助けてくれるのがうれしい！」

## 第2回目「みんなのきれいなもの・きれいなこと」

「やさしい」「たけのこ」「ごぼう」「ピーマン」「レモン、酸っぱいから。でも唐揚げにかけるときは好き」「恐竜。だって食べられるから」「ゴキブリ」「ムカデ」「高鬼、ジャンプするのが嫌」「ごま」「蚊」…(私が子どもの頃にズボンのなかにムカデが入ってきた話をすると、「ママも服のなかにムカデ入ってきたことある…」と話してくれる子もいました。)

「朝のめざましの音！だって眠いのに、うるさいだもん」(わかる～！！)

## 第3回目「もしも願い事が叶うとしたら…」

「ママたちが優しくしてくれますように。だって怒らすもん。車にぶつかったときとか…」

「さつまいもがたべたい！」「おすしがたべたい！」(…とっても現実的！)

「おすもうさんに会いたい！」

「お金持ちになりたい。お金持ちになって、クレーンゲームたくさんしたい。」「お金増やしてハロウィン(お菓子)パーティしたい。」

「ママにお花のプレゼントしたい。いつもありがとうっていう。」

「ひいばあちゃんの歯が生えますように。(歯がなくてお菓子が食べられないから)」

「戦争とコロナがはやくおわってほしい」

「だれかと結婚したい。だって結婚しないとあかちゃん生まれないんでしょ？あかちゃんのお世話したいもん。」

## 第4回目「子どもと大人、どっちがいい？」

### 《子どもの方がいい理由》

「公園にあって、ケイドロとか滑り台ができるから。…大人はバドミントンしたり、犬とあそんだりする。」

「ばあばから絵本読んでもらえるから」

「パパとか、ばあばとかとお風呂に入ったり、一緒に寝たり、一緒にお手伝いとかできるし、やさしくしてもらえるから」

「走るのが早いから。大人は体が重い、すぐ疲れる」

「大人は太ってるし、体が重いから足が遅い」(慎ちゃんは痩せてるし、足も速いよ?)「慎ちゃんは大人に化けてる」「慎ちゃんは子どものスパイ！」(子どもと大人は、どこが違うの?)「顔」、「背」、「もじゃもじゃ」…

### 《大人の方がいい理由》

「お母さんになって、お仕事したい。お仕事行って、帰って、ご飯食べて、お風呂入って、寝るの」

「2階でお菓子が食べれるから。辛いお菓子とか。」

「ケーキとか、ごはんとか作れるから。子どもだとこぼしたり、失敗する」

「ばあばの病院にお見舞いに行けるから。(子どもだけではお見舞いに行ったらダメだから)」

「車が運転できるから。(いとこを迎えに行きたい)」「ケータイ(スマホ)持ってるから。YOUTUBEみたいもん。」

「27歳になったら結婚したい。3階建ての家、建ててあげて、家にはゲームセンターもあって、プールもある。そして赤ちゃん生んで(赤ちゃんが)5歳になったら遊んであげたい。」(…なぜ27歳になったらなのか、なぜ5歳になったらなのか、具体的な年齢については不明)